



## 2022年3月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)

2022年4月28日

|               |                       |           |                           |
|---------------|-----------------------|-----------|---------------------------|
| 上場会社名         | 株式会社DNAチップ研究所         | 上場取引所     | 東                         |
| コード番号         | 2397                  | URL       | http://www.dna-chip.co.jp |
| 代表者           | (役職名)代表取締役社長 (氏名)的場 亮 |           |                           |
| 問合せ先責任者       | (役職名)総務課長 (氏名)大塚 勉    | (TEL)     | 03(5777)1700              |
| 定時株主総会開催予定日   | 2022年6月22日            | 配当支払開始予定日 | 一年一月一日                    |
| 有価証券報告書提出予定日  | 2022年6月24日            |           |                           |
| 決算補足説明資料作成の有無 | : 有                   |           |                           |
| 決算説明会開催の有無    | : 有 (機関投資家・アナリスト向け)   |           |                           |

(百万円未満切捨て)

### 1. 2022年3期の業績 (2021年4月1日~2022年3月31日)

(1) 経営成績 (%表示は対前期増減率)

|          | 売上高 |       | 営業利益 |   | 経常利益 |   | 当期純利益 |   |
|----------|-----|-------|------|---|------|---|-------|---|
|          | 百万円 | %     | 百万円  | % | 百万円  | % | 百万円   | % |
| 2022年3月期 | 427 | 31.9  | △166 | — | △138 | — | △134  | — |
| 2021年3月期 | 324 | △10.3 | △172 | — | △174 | — | △172  | — |

|          | 1株当たり<br>当期純利益 | 潜在株式調整後<br>1株当たり<br>当期純利益 | 自己資本<br>当期純利益率 | 総資産<br>経常利益率 | 売上高<br>営業利益率 |
|----------|----------------|---------------------------|----------------|--------------|--------------|
|          | 円 銭            | 円 銭                       | %              | %            | %            |
| 2022年3月期 | △23.15         | —                         | △16.0          | △14.5        | △38.9        |
| 2021年3月期 | △30.38         | —                         | △22.5          | △19.8        | △53.1        |

(参考) 持分法投資損益 2022年3月期 — 百万円 2021年3月期 — 百万円

潜在株式調整後1株当たり当期純利益につきましては、潜在株式は存在するものの1株当たり純損失であるため記載しておりません。

### (2) 財政状態

|          | 総資産   | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|----------|-------|-----|--------|----------|
|          | 百万円   | 百万円 | %      | 円 銭      |
| 2022年3月期 | 890   | 780 | 86.8   | 133.49   |
| 2021年3月期 | 1,020 | 930 | 88.8   | 156.65   |

(参考) 自己資本 2022年3月期 772 百万円 2021年3月期 906 百万円

### (3) キャッシュ・フローの状況

|          | 営業活動による<br>キャッシュ・フロー | 投資活動による<br>キャッシュ・フロー | 財務活動による<br>キャッシュ・フロー | 現金及び現金同等物<br>期末残高 |
|----------|----------------------|----------------------|----------------------|-------------------|
|          | 百万円                  | 百万円                  | 百万円                  | 百万円               |
| 2022年3月期 | △72                  | △58                  | —                    | 489               |
| 2021年3月期 | △76                  | △51                  | 445                  | 620               |

## 2. 配当の状況

|              | 年間配当金  |        |        |      |      | 配当金総額<br>(合計) | 配当性向 | 純資産<br>配当率 |
|--------------|--------|--------|--------|------|------|---------------|------|------------|
|              | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末   | 合計   |               |      |            |
|              | 円 銭    | 円 銭    | 円 銭    | 円 銭  | 円 銭  | 百万円           | %    | %          |
| 2021年3期      | —      | 0 00   | —      | 0 00 | 0 00 | —             | —    | —          |
| 2022年3期      | —      | 0 00   | —      | 0 00 | 0 00 | —             | —    | —          |
| 2023年3月期(予想) | —      | 0 00   | —      | 0 00 | 0 00 |               | —    |            |

### 3. 2023年3月期の業績予想 (2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

|     | 売上高 |     | 営業利益 |   | 経常利益 |   | 当期純利益 |   | 1株当たり<br>当期純利益 |
|-----|-----|-----|------|---|------|---|-------|---|----------------|
|     | 百万円 | %   | 百万円  | % | 百万円  | % | 百万円   | % | 円 銭            |
| 通 期 | 440 | 2.8 | △222 | — | △219 | — | △220  | — | △38.00         |

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- |                      |   |   |
|----------------------|---|---|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : | 有 |
| ② ①以外の会計方針の変更        | : | 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更         | : | 無 |
| ④ 修正再表示              | : | 無 |

(2) 発行済株式数（普通株式）

|                     |          |            |          |            |
|---------------------|----------|------------|----------|------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 2022年3月期 | 5,789,700株 | 2021年3月期 | 5,789,700株 |
| ② 期末自己株式数           | 2022年3月期 | 137株       | 2021年3月期 | 137株       |
| ③ 期中平均株式数           | 2022年3月期 | 5,789,563株 | 2021年3月期 | 5,676,594株 |

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料5ページ「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

|                       |    |
|-----------------------|----|
| 1. 経営成績等の概況           | 2  |
| (1) 当期の経営成績の概況        | 2  |
| (2) 当期の財政状態の概況        | 4  |
| (3) 当期のキャッシュ・フローの概況   | 4  |
| (4) 今後の見通し            | 5  |
| (5) 継続企業の前提に関する重要事象等  | 6  |
| 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 | 7  |
| 3. 財務諸表及び主な注記         | 8  |
| (1) 貸借対照表             | 8  |
| (2) 損益計算書             | 10 |
| (3) 株主資本等変動計算書        | 11 |
| (4) キャッシュ・フロー計算書      | 13 |
| (5) 財務諸表に関する注記事項      | 14 |
| (継続企業の前提に関する注記)       | 14 |
| (会計方針の変更)             | 14 |
| (追加情報)                | 14 |
| (セグメント情報)             | 14 |
| (持分法損益等)              | 16 |
| (1株当たり情報)             | 16 |
| (重要な後発事象)             | 17 |

## 1. 経営成績等の概況

## (1) 当期の経営成績の概況

当事業年度における我が国経済は、昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響下において事業活動が制限される中、国民のワクチン接種や感染症対策の徹底により個人消費が急増し、全体を牽引しました。2022年に入っても景気は緩やかに持ち直しておりますが、オミクロン株の感染急拡大と多くの地域でのまん延防止等重点措置の適用によって個人消費が再び悪化するなど一部に弱さも見られます。それでもオミクロン株の重症化リスクが小さいことや2月上旬に感染がピークアウトしたことなどから今後は需要の盛り返しが期待されます。

しかしながら2月下旬以降のロシアのウクライナ侵攻による資源価格の高騰や円安により先行きの成長下振れ懸念が強まっており、3月の米国の利上げ決定も相まって今後の日本経済へ及ぼす影響も引き続き注視していく必要があると思われまます。

当社が属するヘルスケア分野は、高齢化や健康・医療ニーズの多様化を背景に需要期待が高まっております。政府も成長戦略の一つと位置付けており、ヘルスケア産業の活性化は今後も引き続き見込まれております。

バイオ業界では、がんゲノム医療時代の幕開けと言える話題として、2019年6月に患者のがん細胞の遺伝子変異を調べて、最適な薬を選ぶ「がんゲノム医療」の遺伝子検査システムに公的医療保険が適用になりました。対象になるのは、原発不明がん、標準治療を終えたがんや希少がんの患者で、これまでは限られた医療機関において、自費で高額な費用をかけ、わずかな可能性にかけて検査を受け、使える薬を探っていたものが、公的医療保険を利用して全国の医療機関で広く検査を受けられるようになりました。

このような環境下において、当社は、経営方針を「開発力強化と事業化加速」と定め、既存の研究事業の成長と、新しい診断事業におけるEGFRリキッド及び肺がんコンパクトパネルのオンコロジー分野でのコンパニオン診断の事業化に取り組んでおります。現在、血液を用いて肺がんの遺伝子変異検査を行う、EGFRリキッドをコンパニオン診断として、2019年7月10日に厚生労働省へ承認申請を行い、2020年7月31日に高度管理医療機器製造販売承認(以降薬事承認といえます)を取得し、2021年5月21日に未固定組織を対象とした検査を、同年8月1日には血漿を対象とした検査の保険算定が開始となりました。薬事試験・申請・承認プロセスにおける経験・ノウハウを活かし、オンコロジーを中心とした診断分野での検査開発をさらに加速してまいります。また、次の主力検査として、複数の肺がんドライバー遺伝子変異を、高感度かつ一括で検査可能な肺がんコンパクトパネルを開発し、薬事試験を進めてきており、2021年10月28日に薬事申請を行いました。当社は、EGFRリキッドの市場への普及、および肺がんコンパクトパネルの薬事承認・公的医療保険適用による早期事業化を最優先事項として取り組んでおります。

当事業年度の経営成績は、研究事業、診断事業ともに前事業年度よりも売上高が増加し、売上高は427百万円(前年同期比131.9%)となりました。利益面では、営業損失166百万円(前年同期172百万円)、経常損失138百万円(前年同期174百万円)、当期純損失134百万円(前年同期172百万円)となりました。

(単位：千円)

|          | 売上高     | 営業利益 (△は損失) | 経常利益 (△は損失) | 当期純利益 (△は損失) |
|----------|---------|-------------|-------------|--------------|
| 2022年3月期 | 427,935 | △166,614    | △138,762    | △134,046     |
| 2021年3月期 | 324,501 | △172,196    | △174,856    | △172,473     |

## 【売上高】

当事業年度の売上高は、427百万円(前年同期比131.9%)となりました。セグメント別の状況以下のとおりです。

## 〈研究事業〉

研究事業におきましては、主な事業として受託解析サービスを行っております。大学や公的研究機関、製薬会社等の企業を主要な顧客として、遺伝子関連解析の各種サービスを提供しております。主なサービスは、マイクロアレイ受託解析サービスと次世代シーケンシング受託解析サービスがあります。両サービスのどちらも大学や公的研究機関、製薬会社等の企業に対し積極的な提案型営業を行い、きめ細やかなフォローを推進しております。また、各種受託解析の実績から顧客の目的に合わせた実験デザインの提案、データ解析及びサポートに力を入れるとともに、顧客ニーズに合わせた新規サービスメニューの拡充を図っております。

特に国の施策としても注目されている次世代シーケンシングを活用した、「がんゲノム解析」や「網羅的な遺伝子解析」を行う受託サービスにも注力しております。また「デジタルPCR受託サービス」等、多様化する研究ニーズに合わせた遺伝子解析メニューを展開しております。

いずれのサービスにつきましても、他社との差別化を意識し、クオリティの高い内容をお客様に提供すべく取り

組んでおります。

マイクロアレイ受託解析及び次世代シーケンス受託解析の両サービスは前事業年度から当事業年度にかけて受託件数が伸びました。とくに近年遺伝子解析の主流となりつつある次世代シーケンス受託解析サービスについては、前年度を上回る受託件数となり、この分野において当社が重要な位置づけとなり、お客様の研究に貢献いたしました。その結果、当事業年度の研究受託事業の売上高は376百万円（前年同期比118.7%）となりました。

#### 〈診断事業〉

診断事業におきましては、血液を用いて肺がんの遺伝子変異を検査する、EGFRリキッド及び肺がんの分子標的薬の適用となる遺伝子異常を一括検査可能な肺がんコンパクトパネルの市場への普及を当社の最優先事項として取り組んでおります。EGFRリキッドは、2020年7月31日に薬事承認を取得し、2021年5月21日に未固定組織を対象とした検査を、同年8月1日には血漿を対象とした検査の保険算定が開始となりました。この検査は、低侵襲的な血液遺伝子検査により、血中に微量に存在する血中腫瘍DNA上のEGFR変異を次世代シーケンス法により高感度に検出するリキッドバイオブシー検査です。肺がん組織の生検（気管支鏡検査、CTガイド下生検）は、侵襲性が高く患者さんへの負担も大きいことから、リキッドバイオブシー検査への期待が高まっています。また、EGFRリキッドに続いて、肺がん組織検査に特化した高感度な一括遺伝子検査パネル（肺がんコンパクトパネル）を開発し、2021年10月28日に薬事申請を行いました。肺がんコンパクトパネルは、EGFR・ALK・ROS1・BRAF・METの薬剤適用の対象となっている遺伝子変異に加え、ごく最近に上市されたRET融合遺伝子やKRAS遺伝子、さらには近い将来分子標的治療薬の上市が見込まれているHER2などのターゲット遺伝子の変異を検出します。今回の申請ではまず、EGFR・ALK・ROS1・METの4つの遺伝子変異に対応する分子標的治療薬のコンビオン診断システムとして薬事申請を行いました。今後さらにBRAF(V600E)、RET及びKRAS遺伝子(G12C)への適用を追加申請していく予定です。本手法は、高感度であることから細胞診を対象とした解析も可能であり、聖マリアンナ医科大学との共同研究でその有用性を示してきました。単施設での結果をベースとして、多施設での評価を目的としたcPANEL多機関共同研究（聖マリアンナ医科大学および神奈川県立がんセンターを主幹施設とした全国から7施設）を計画し2022年3月7日に倫理審査が承認されました。本研究により、細胞診コンパクトパネルの有用性評価を進めてまいります。

診断事業の新規検査メニューとして、今年度より着床前胚染色体検査(PGT-A/PGT-SR)の準備を開始しております。「反復体外受精・胚移植(ART)不成功例、習慣流産例(反復流産を含む)、染色体構造異常例を対象とした着床前胚染色体異数性検査(PGT-A)の有用性に関する多施設共同研究」における研究分担施設(解析実施施設)として日本産科婦人科学会倫理委員会により承認されております。2022年4月より不妊治療の保険適用が始まり、PGT-Aは先進医療での試験を経て保険適用を目指すという方針が示されています。日本産科婦人科学会が主導する検査の枠組みに準拠した形で、検査サービスを提供していく予定としています。

また、希少変異検出の技術を発展させたNOIR-SS技術(分子バーコード技術を用いて高感度かつ正確な分子数測定が可能となる超低頻度変異DNAの検出技術)により、高感度に複数遺伝子を一括解析可能なリキッドバイオブシー検査サービスを研究用検査として提供しております。希少変異検出の独自特許技術及び薬事試験を通して培ったノウハウ、クリニカルシーケンスグレードでの精度管理・レポートシステムを活用し、リキッドバイオブシー分野での研究推進・医療現場での遺伝子解析の普及促進に貢献してまいります。また、大規模な解析結果から有益な情報を効率的に導き出すビッグデータ解析、AI技術開発も進めており、次世代型診断技術開発への応用やシーズ探索の効率化、検査系システムの頑健化・効率化に繋げていきます。

その他の検査メニューとして、遺伝子解析を用いた関節リウマチの薬剤効果予測検査、うつ病を含む精神疾患の診断技術の開発も積極的に進めております。また、乳癌手術後の再発リスクを測定し情報を提供するMammaPrint及び、長期的な予後や全身療法感受性の情報を提供するBluePrintのサービスを病院・クリニック向けに展開しております。

当事業年度の診断事業はコンパクトパネル事業の薬事申請準備及びEGFRリキッドの事業化整備を進める一方で解析業務やMammaPrintの販売に係る売上が前事業年度より増加したことで売上高は51百万円(前年同期比701.4%)となりました。

#### 【営業損失】

前事業年度は営業損失172百万円であったのに対し、当事業年度は営業損失166百万円と営業損失額は5百万円減少いたしました。

【経常損失】

前事業年度は経常損失174百万円であったのに対し、当事業年度の経常損失は138百万円となりました。

【当期純損失】

前事業年度は当期純損失172百万円であったのに対し、当事業年度は、当期純損失134百万円となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

①資産

当事業年度末における総資産の残高は、前事業年度末に比べ130百万円減少し890百万円となりました。その主な要因は次のとおりです。

(流動資産)

流動資産は、前事業年度末に比べて114百万円減少し、710百万円となりました。これは、現金及び預金が131百万円、前払費用12百万円が減少し、受取手形が13百万円、売掛金が9百万円、貯蔵品が5百万円増加したことなどによるものです。

(固定資産)

固定資産は、前事業年度末に比べて16百万円減少し、179百万円となりました。これは、有形固定資産が14百万円、投資その他の資産が39百万円それぞれ減少し、将来の事業化に資する無形固定資産であるソフトウェア制作による費用46百万円の増加及び無形固定資産に係る減価償却費8百万円の減少などによるものです。

②負債

(流動負債)

流動負債は、前事業年度末に比べて17百万円増加し、99百万円となりました。主な要因は未払金が6百万円、未払消費税が6百万円増加したことによるものです。

(固定負債)

固定負債は、前事業年度末に比べて微増し、10百万円となりました。

③純資産

純資産は、前事業年度末に比べて150百万円減少し780百万円となりました。これは、当期純損失による利益剰余金134百万円の減少などによるものです。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末における現金及び現金同等物の期末残高は前事業年度末に比べ131百万円減少し489百万円となりました。その主な要因は、税引前当期純損失による減少133百万円のほか、減価償却費の発生16百万円、減損損失の発生10百万円、売上債権の増加23百万円、前払費用の減少46百万円、仕入債務の増加4百万円、有形・無形固定資産の取得による支出58百万円などによるものです。当事業年度における各項目の状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、前事業年度では76百万円の支出となったのに対し、当事業年度は72百万円の支出となりました。主な要因は、収入では減価償却費16百万円及び減損損失10百万円、研究施設及び事務所の2020年1月から2022年12月までの賃借料(3年分)の前払いなどによる前払費用の減少46百万円、仕入債務の増加4百万円、支出では税引前当期純損失133百万円、売上債権の増加23百万円などによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローでは、前事業年度51百万円の支出に対し、当事業年度は58百万円の支出となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出7百万円、無形固定資産の取得による支出51百万円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローはありません。

#### (4) 今後の見通し

〈研究事業〉

i. 当社のノウハウを活用した提案型研究受託の営業強化

提案型研究受託の営業強化を図り、従来の大学・研究所中心のビジネスに加え、製薬会社等の企業向けビジネスの拡大を図ってまいります。

ii. 実験デザインの提案、検体の受領からデータ解析まで、顧客ニーズに応じた一気通貫の大型案件の受注確保  
大型案件の受注を確実に確保し、売上の拡大を図ってまいります。

iii. 外部企業との連携強化

他社との連携を実施し、受注件数を拡大、ならびに受託解析のメニュー拡大をしてまいります。

iv. 新サービスメニュー開発によるメニューの差別化

お客様の要望の高い新サービスメニューを開発し、他社との差別化を図り受注の拡大を図ってまいります。

〈診断事業〉

i. 肺がんコンパクトパネルの薬事承認・公的医療保険適用による事業化

2021年10月28日に独立行政法人医薬品医療機器総合機構に対して肺がんコンパクトパネルの薬事申請を行いました。共同研究による臨床有用性の評価と製品価値の向上を引き続き実施し、新たに上市される新規分子標的薬剤の追加試験・追加申請も実施していきます。得られた成果を肺癌学会などの学術集会での企業セミナーにて公開し、各種ガイドラインへの肺がんコンパクトパネル検査の周知及び臨床現場への浸透を推進していきます。細胞診を対象としたコンパクトパネルの有用性は、多機関共同試験(cPANEL試験)により、多施設での有用性評価のフェーズへと移行し、検体採取の標準化を推進していきます。

ii. EGFRリキッドの臨床現場への普及

EGFRリキッドの公的医療保険適用後の市場への普及に向けた活動を行っております。

iii. 新規診断検査メニュー・AI駆動診断解析支援サービスの開発

リキッドバイオブシーおよびクリニカルシーケンス・オンコパネル解析メニューの拡充を進めてまいります。また、AI駆動診断解析の技術開発を進め、次世代診断サービスの研究開発シーズ創出と研究用サービスメニュー化を目指していきます。

iv. MammaPrint及びBlueprintの販売拡大

MammaPrint及びBlueprintの販売拡大により、従来以上の売上を獲得することに注力いたします。

v. 着床前胚染色体検査(PGT-A/PGT-SR)の拡大

新規検査メニューとして、今年度より着床前胚染色体検査(PGT-A/PGT-SR)の準備を開始しております。

vi. 研究用検査サービスの提供

リキッドバイオブシーの独自技術を中心とした研究用検査サービスおよびAI駆動診断解析コンサルティングサービスを提供し、研究用検査・共同研究を通じた検査顧客の開拓、さらには次の診断技術のシーズ確立につなげていきます。

なお、次期(2023年3月期)の業績予想につきましては、以上の取組みを実施する他、コンパクトパネル事業を稼働させるためのラボ新設に係る多額の一時費用が見込まれる影響により、売上高440百万円、営業損失222百万円、経常損失219百万円、当期純損失220百万円を見込んでおります。

現時点での新型コロナウイルス感染症による業績見通しへの影響は、未だ不透明であることから加味しておりません。

※本資料における予想につきましては、当社が現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであります。予想に内在するさまざまな不確定要因や今後の事業運営における内外の状況変化等により、実際の業績と異なる場合がありますので、ご承知おきください。

## (5) 継続企業の前提に関する重要事象等

当社は、将来にわたって事業活動を継続するとの前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況その他提出会社の経営に重要な影響を及ぼす事象として、2006年3月期より継続的な営業損失の発生及び営業キャッシュ・フローのマイナスを計上しております。

また、当事業年度におきましても、営業損失166百万円、経常損失138百万円、当期純損失134百万円、営業キャッシュ・フロー△72百万円を計上するという事実が存在しております。

そこで、中期事業計画におきまして、研究事業では、次世代シーケンス解析ビジネスの拡大等により持続的成長・収益化を、また、診断事業では肺がんコンパニオン診断の薬事承認及び事業化をめざしてまいります。

その中で次事業年度は以下の施策に取組み、440百万円の売上確保をめざしてまいります。

### ①研究事業

#### i. 当社のノウハウを活用した提案型研究受託の営業強化

提案型研究受託の営業強化を図り、従来の大学・研究所中心のビジネスに加え、製薬会社等の企業向けビジネスの拡大を図ってまいります。

#### ii. 実験デザインの提案、検体の受領からデータ解析まで、顧客ニーズに応じた一気通貫の大型案件の受注確保 大型案件の受注を確実に確保し、売上の拡大を図ってまいります。

#### iii. 外部企業との連携強化

他社との連携を実施し、受注件数を拡大、ならびに受託解析のメニュー拡大をしてまいります。

#### iv. 新サービスメニュー開発によるメニューの差別化

お客様の要望の高い新サービスメニューを開発し、他社との差別化を図り受注の拡大を図ってまいります。

### ②診断事業

#### i. 肺がんコンパクトパネルの薬事承認・公的医療保険適用による事業化

2021年10月28日に独立行政法人医薬品医療機器総合機構に対して肺がんコンパクトパネルの薬事申請を行いました。共同研究による臨床有用性の評価と製品価値の向上を引き続き実施し、新たに上市される新規分子標的薬剤の追加試験・追加申請も実施していきます。得られた成果を肺癌学会などの学術集会での企業セミナーにて公開し、各種ガイドラインへの肺がんコンパクトパネル検査の周知及び臨床現場への浸透を推進していきます。細胞診を対象としたコンパクトパネルの有用性は、多機関共同試験(cPANEL試験)により、多施設での有用性評価のフェーズへと移行し、検体採取の標準化を推進していきます。

#### ii. EGFRリキッドの臨床現場への普及

EGFRリキッドの公的医療保険適用後の市場への普及に向けた活動を行っております。

#### iii. 新規診断検査メニュー・AI駆動診断解析支援サービスの開発

リキッドバイオブシーおよびクリニカルシーケンス・オンコパネル解析メニューの拡充を進めてまいります。また、AI駆動診断解析の技術開発を進め、次世代診断サービスの研究開発シーズ創出と研究用サービスメニュー化を目指していきます。

#### iv. MammaPrint及びBlueprintの販売拡大

MammaPrint及びBlueprintの販売拡大により、従来以上の売上を獲得することに注力いたします。

#### v. 着床前胚染色体検査(PGT-A/PGT-SR)の拡大

新規検査メニューとして、今年度より着床前胚染色体検査(PGT-A/PGT-SR)の準備を開始しております。



vi. 研究用検査サービスの提供

リキッドバイオプシーの独自技術を中心とした研究用検査サービスおよびAI駆動診断解析コンサルティングサービスを提供し、研究用検査・共同研究を通じた検査顧客の開拓、さらには次の診断技術のシーズ確立につなげていきます。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、財務諸表の期間比較可能性を考慮し、当面は日本基準で財務諸表を作成する方針であります。  
なお、IFRSの適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

## 3. 財務諸表及び主な注記

## (1) 貸借対照表

(単位：千円)

|               | 前事業年度<br>(2021年3月31日) | 当事業年度<br>(2022年3月31日) |
|---------------|-----------------------|-----------------------|
| <b>資産の部</b>   |                       |                       |
| 流動資産          |                       |                       |
| 現金及び預金        | 620,801               | 489,154               |
| 受取手形          | 34,995                | 48,842                |
| 売掛金           | 114,723               | 124,230               |
| 商品            | 0                     | 0                     |
| 貯蔵品           | 3,019                 | 8,064                 |
| 前払費用          | 49,490                | 37,062                |
| その他           | 1,707                 | 2,853                 |
| 流動資産合計        | 824,737               | 710,208               |
| 固定資産          |                       |                       |
| 有形固定資産        |                       |                       |
| 建物            | 15,491                | 13,493                |
| 減価償却累計額       | △10,826               | △13,492               |
| 建物(純額)        | 4,664                 | 0                     |
| 工具、器具及び備品     | 172,084               | 169,416               |
| 減価償却累計額       | △159,390              | △166,980              |
| 工具、器具及び備品(純額) | 12,694                | 2,436                 |
| 有形固定資産合計      | 17,359                | 2,436                 |
| 無形固定資産        |                       |                       |
| 特許権           | 385                   | —                     |
| ソフトウェア        | 35,938                | 27,686                |
| ソフトウェア仮勘定     | 68,144                | 114,356               |
| 施設利用権         | 0                     | 0                     |
| 無形固定資産合計      | 104,468               | 142,043               |
| 投資その他の資産      |                       |                       |
| 投資有価証券        | 0                     | 0                     |
| 長期前払費用        | 34,518                | 474                   |
| 敷金            | 39,896                | 34,872                |
| 投資その他の資産合計    | 74,415                | 35,346                |
| 固定資産合計        | 196,243               | 179,826               |
| 資産合計          | 1,020,981             | 890,034               |
| <b>負債の部</b>   |                       |                       |
| 流動負債          |                       |                       |
| 買掛金           | 49,427                | 47,476                |
| 未払金           | 4,736                 | 10,935                |
| 未払費用          | 21,922                | 24,092                |
| 未払法人税等        | 4,519                 | 5,184                 |
| 前受金           | —                     | 3,742                 |
| 未払消費税等        | —                     | 6,622                 |
| 預り金           | 1,045                 | 1,276                 |
| 流動負債合計        | 81,650                | 99,329                |
| 固定負債          |                       |                       |
| 退職給付引当金       | 8,711                 | 10,180                |
| 固定負債合計        | 8,711                 | 10,180                |
| 負債合計          | 90,361                | 109,509               |

(単位：千円)

|          | 前事業年度<br>(2021年3月31日) | 当事業年度<br>(2022年3月31日) |
|----------|-----------------------|-----------------------|
| 純資産の部    |                       |                       |
| 株主資本     |                       |                       |
| 資本金      | 642,439               | 642,439               |
| 資本剰余金    |                       |                       |
| 資本準備金    | 670,018               | 670,018               |
| 資本剰余金合計  | 670,018               | 670,018               |
| 利益剰余金    |                       |                       |
| その他利益剰余金 |                       |                       |
| 繰越利益剰余金  | △405,443              | △539,490              |
| 利益剰余金合計  | △405,443              | △539,490              |
| 自己株式     | △92                   | △92                   |
| 株主資本合計   | 906,920               | 772,874               |
| 新株予約権    | 23,698                | 7,650                 |
| 純資産合計    | 930,619               | 780,524               |
| 負債純資産合計  | 1,020,981             | 890,034               |

## (2) 損益計算書

(単位：千円)

|              | 前事業年度<br>(自 2020年4月1日<br>至 2021年3月31日) | 当事業年度<br>(自 2021年4月1日<br>至 2022年3月31日) |
|--------------|--|--|
| 売上高          |  |  |
| 売上高          | 324,501                                | 427,935                                |
| 売上原価         |  |  |
| 売上原価         | 258,319                                | 338,719                                |
| 売上総利益        | 66,181                                 | 89,215                                 |
| 販売費及び一般管理費   | 238,377                                | 255,830                                |
| 営業損失(△)      | △172,196                               | △166,614                               |
| 営業外収益        |  |  |
| 受取利息         | 5                                      | 5                                      |
| 受取賃貸料        | 66                                     | —                                      |
| 補助金収入        | —                                      | 28,885                                 |
| 保険配当金        | —                                      | 36                                     |
| その他          | 3                                      | 9                                      |
| 営業外収益合計      | 75                                     | 28,936                                 |
| 営業外費用        |  |  |
| 株式交付費        | 2,655                                  | —                                      |
| 為替差損         | 80                                     | 1,084                                  |
| 営業外費用合計      | 2,736                                  | 1,084                                  |
| 経常損失(△)      | △174,856                               | △138,762                               |
| 特別利益         |  |  |
| 助成金収入        | 2,000                                  | —                                      |
| 新株予約権戻入益     | 1,333                                  | 16,048                                 |
| 特別利益合計       | 3,333                                  | 16,048                                 |
| 特別損失         |  |  |
| 固定資産除却損      | 0                                      | —                                      |
| 減損損失         | —                                      | 10,381                                 |
| 特別損失合計       | 0                                      | 10,381                                 |
| 税引前当期純損失(△)  | △171,523                               | △133,095                               |
| 法人税、住民税及び事業税 | 950                                    | 950                                    |
| 法人税等合計       | 950                                    | 950                                    |
| 当期純損失(△)     | △172,473                               | △134,046                               |

## (3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:千円)

|                     | 株主資本    |         |         |                     |          |
|---------------------|---------|---------|---------|---------------------|----------|
|                     | 資本金     | 資本剰余金   |         | 利益剰余金               |          |
|                     |         | 資本準備金   | 資本剰余金合計 | その他利益剰余金<br>繰越利益剰余金 | 利益剰余金合計  |
| 当期首残高               | 416,219 | 443,798 | 443,798 | △232,970            | △232,970 |
| 当期変動額               |         |         |         |                     |          |
| 新株の発行(新株予約権の行使)     | 226,219 | 226,219 | 226,219 |                     |          |
| 当期純損失(△)            |         |         |         | △172,473            | △172,473 |
| 自己株式の取得             |         |         |         |                     |          |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) |         |         |         |                     |          |
| 当期変動額合計             | 226,219 | 226,219 | 226,219 | △172,473            | △172,473 |
| 当期末残高               | 642,439 | 670,018 | 670,018 | △405,443            | △405,443 |

|                     | 株主資本 |          | 新株予約権  | 純資産合計    |
|---------------------|------|----------|--------|----------|
|                     | 自己株式 | 株主資本合計   |        |          |
| 当期首残高               | △68  | 626,979  | 26,354 | 653,334  |
| 当期変動額               |      |          |        |          |
| 新株の発行(新株予約権の行使)     |      | 452,438  |        | 452,438  |
| 当期純損失(△)            |      | △172,473 |        | △172,473 |
| 自己株式の取得             | △23  | △23      |        | △23      |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) |      |          | △2,656 | △2,656   |
| 当期変動額合計             | △23  | 279,941  | △2,656 | 277,285  |
| 当期末残高               | △92  | 906,920  | 23,698 | 930,619  |

当事業年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位:千円)

|                         | 株主資本    |         |         |                     |          |
|-------------------------|---------|---------|---------|---------------------|----------|
|                         | 資本金     | 資本剰余金   |         | 利益剰余金               |          |
|                         |         | 資本準備金   | 資本剰余金合計 | その他利益剰余金<br>繰越利益剰余金 | 利益剰余金合計  |
| 当期首残高                   | 642,439 | 670,018 | 670,018 | △405,443            | △405,443 |
| 当期変動額                   |         |         |         |                     |          |
| 当期純損失(△)                |         |         |         | △134,046            | △134,046 |
| 株主資本以外の項目<br>の当期変動額(純額) |         |         |         |                     |          |
| 当期変動額合計                 | —       | —       | —       | △134,046            | △134,046 |
| 当期末残高                   | 642,439 | 670,018 | 670,018 | △539,490            | △539,490 |

|                         | 株主資本 |          | 新株予約権   | 純資産合計    |
|-------------------------|------|----------|---------|----------|
|                         | 自己株式 | 株主資本合計   |         |          |
| 当期首残高                   | △92  | 906,920  | 23,698  | 930,619  |
| 当期変動額                   |      |          |         |          |
| 当期純損失(△)                |      | △134,046 |         | △134,046 |
| 株主資本以外の項目<br>の当期変動額(純額) |      |          | △16,048 | △16,048  |
| 当期変動額合計                 | —    | △134,046 | △16,048 | △150,094 |
| 当期末残高                   | △92  | 772,874  | 7,650   | 780,524  |

## (4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

|                         | 前事業年度<br>(自 2020年4月1日<br>至 2021年3月31日) | 当事業年度<br>(自 2021年4月1日<br>至 2022年3月31日) |
|-------------------------|--|--|
| <b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b> |  |  |
| 税引前当期純損失(△)             | △171,523                               | △133,095                               |
| 減価償却費                   | 21,624                                 | 16,471                                 |
| 減損損失                    | —                                      | 10,381                                 |
| 退職給付引当金の増減額(△は減少)       | 1,319                                  | 1,469                                  |
| 受取利息                    | △5                                     | △5                                     |
| 売上債権の増減額(△は増加)          | 16,605                                 | △23,354                                |
| 棚卸資産の増減額(△は増加)          | 6,762                                  | △5,045                                 |
| 前払費用の増減額(△は増加)          | 45,515                                 | 46,472                                 |
| 仕入債務の増減額(△は減少)          | △963                                   | 4,436                                  |
| 未払費用の増減額(△は減少)          | △5,920                                 | 2,170                                  |
| その他                     | 10,850                                 | 8,069                                  |
| 小計                      | △75,735                                | △72,029                                |
| 利息の受取額                  | 5                                      | 5                                      |
| 法人税等の支払額又は還付額(△は支払)     | △290                                   | △949                                   |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー        | △76,019                                | △72,974                                |
| <b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b> |  |  |
| 有形固定資産の取得による支出          | △8,837                                 | △7,074                                 |
| 無形固定資産の取得による支出          | △42,559                                | △51,598                                |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー        | △51,396                                | △58,672                                |
| <b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b> |  |  |
| 新株予約権の行使による株式の発行による収入   | 445,862                                | —                                      |
| 自己株式の取得による支出            | △23                                    | —                                      |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー        | 445,838                                | —                                      |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少)     | 318,422                                | △131,647                               |
| 現金及び現金同等物の期首残高          | 302,379                                | 620,801                                |
| 現金及び現金同等物の期末残高          | 620,801                                | 489,154                                |

## (5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業的前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当第1四半期会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

これにより、収益認識会計基準等の適用による損益及びセグメント情報に与える影響はありません。

また、収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項のただし書きに定める経過的な取扱いに従っておりますが、利益剰余金期首残高に与える影響はありません。

なお、「収益認識に関する会計基準」第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前事業年度に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う会計上の見積りについて

当事業年度における我が国経済は、昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響下において事業活動が制限される中、国民のワクチン接種や感染症対策の徹底により個人消費が急増し、全体を牽引しました。2022年に入っても景気は緩やかに持ち直しておりますが、オミクロン株の感染急拡大と多くの地域でのまん延防止等重点措置の適用によって個人消費が再び悪化するなど一部に弱さも見られます。それでもオミクロン株の重症化リスクが小さいことや2月上旬に感染がピークアウトしたことなどから今後は需要の盛り返しが期待できそうです。

しかしながら2月下旬以降のロシアのウクライナ侵攻による資源価格の高騰や円安により先行きの成長下振れ懸念が強まっており、3月の米国の利上げ決定も相まって今後の日本経済へ及ぼす影響も引き続き注視していく必要があると思われれます。

このような状況の中、当社においても新型コロナウイルス感染症が今後も継続し受注に何らかの影響を与えるとの仮定を置いて固定資産の減損等に関する会計上の見積りを実施しております。

なお、当該見積りは最善の見積りではありますが、見積りに用いた仮定の不確実性は高く、新型コロナウイルス感染症の終息時期及び経済環境への影響が変化した場合には、上記見積りの結果に影響し、当社の財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に影響を及ぼす可能性があります。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## 1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、受託解析及び関連技術の開発を行う「研究事業」とRNAチェックの技術を利用した診断サービスの開発や販売を行う「診断事業」を主な事業の内容としており、この事業区分ごとに包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従って、当社は事業区分を基礎としたセグメントから構成されており、「研究事業」及び「診断事業」の2つを報告セグメントとしております。

当事業年度より、2021年4月1日付の組織変更に伴い従来「研究受託」及び「診断」としていた報告セグメントの名称を「研究事業」及び「診断事業」に変更しております。

なお、前事業年度のセグメント情報については、変更後の名称により作成したものを記載しております。



## 2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

また、報告セグメントごとの業績をより適正に反映させるため、報告セグメント間の経費の配賦方法を見直し、報告セグメントの利益又は損失の算定方法の変更を行っております。

なお、前事業年度のセグメント情報については、変更後の算定方法により作成したものを記載しております。

## 3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前事業年度（自 2020年4月1日 至 2021年3月31日）

(単位：千円)

|                    | 報告セグメント |         |         | 調整額(注)1  | 合計 (注)2   |
|--------------------|---------|---------|---------|----------|-----------|
|                    | 研究事業    | 診断事業    | 計       |          |           |
| 売上高                |         |         |         |          |           |
| 外部顧客への売上高          | 317,141 | 7,360   | 324,501 | —        | 324,501   |
| セグメント間の内部売上高又は振替高  | —       | —       | —       | —        | —         |
| 計                  | 317,141 | 7,360   | 324,501 | —        | 324,501   |
| セグメント利益            | 26,510  | △76,872 | △50,361 | △121,834 | △172,196  |
| セグメント資産            | 207,136 | 66,789  | 273,926 | 747,054  | 1,020,981 |
| セグメント負債            | 43,731  | 9,054   | 52,785  | 37,576   | 90,361    |
| その他の項目             |         |         |         |          |           |
| 減価償却費              | 30,395  | 23,154  | 53,549  | 11,601   | 65,151    |
| 有形固定資産及び無形固定資産の増加額 | 7,641   | 87,539  | 95,180  | —        | 95,180    |

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

- (1)セグメント利益の調整額△121,834千円は、全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。
- (2)セグメント資産の調整額747,054千円は、全社資産であり、主に報告セグメントに帰属しない本社の現金及び預金等であります。
- (3)セグメント負債の調整額37,576千円は、全社負債であり、主に報告セグメントに帰属しない本社の未払費用等であります。
- (4)減価償却費の調整額11,601千円は、報告セグメントに帰属しない長期前払費用等の減価償却費であります。

2. 減価償却費には、長期前払費用に係る償却費が含まれております。

3. 有形固定資産及び無形固定資産の増加額には、長期前払費用が含まれております。

4. セグメント利益は、財務諸表の営業利益と調整を行っております。

当事業年度（自 2021年4月1日 至 2022年3月31日）

(単位：千円)

|                  | 報告セグメント |         |         | 調整額(注)1  | 合計 (注)2  |
|------------------|---------|---------|---------|----------|----------|
|                  | 研究事業    | 診断事業    | 計       |          |          |
| 売上高              |         |         |         |          |          |
| マイクロアレイ受託解析サービス  | 137,450 | —       | 137,450 | —        | 137,450  |
| 次世代シーケンス受託解析サービス | 235,522 | —       | 235,522 | —        | 235,522  |
| 検査業務サービス         | —       | 36,365  | 36,365  | —        | 36,365   |
| その他              | 3,336   | 15,259  | 18,596  | —        | 18,596   |
| 顧客との契約から生じる収益    | 376,310 | 51,624  | 427,935 | —        | 427,935  |
| セグメント利益          | 58,910  | △94,213 | △35,303 | △131,311 | △166,614 |
| セグメント資産          | 173,308 | 73,238  | 246,546 | 643,487  | 890,034  |

|                        |        |        |        |        |         |
|------------------------|--------|--------|--------|--------|---------|
| セグメント負債                | 35,982 | 25,364 | 61,347 | 48,162 | 109,509 |
| その他の項目                 |        |        |        |        |         |
| 減価償却費                  | 20,302 | 20,353 | 40,656 | 9,859  | 50,515  |
| 減損損失                   | 8,328  | 2,052  | 10,381 | —      | 10,381  |
| 有形固定資産及び<br>無形固定資産の増加額 | 3,657  | 48,022 | 51,680 | —      | 51,680  |

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

- (1)セグメント利益の調整額△131,311千円は、全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。
- (2)セグメント資産の調整額643,487千円は、全社資産であり、主に報告セグメントに帰属しない本社の現金及び預金等であります。
- (3)セグメント負債の調整額48,162千円は、全社負債であり、主に報告セグメントに帰属しない本社の未払費用等であります。
- (4)減価償却費の調整額9,859千円は、報告セグメントに帰属しない長期前払費用等の減価償却費であります。

2. 減価償却費には、長期前払費用に係る償却費が含まれております。

3. セグメント利益は、財務諸表の営業利益と調整を行っております。

(持分法損益等)

前事業年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

当社には関連会社がありませんので、該当事項はありません。

当事業年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

当社には関連会社がありませんので、該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり純資産額及び算定上の基礎並びに1株当たり当期純損失及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| 項目                           | 前事業年度<br>(2021年3月31日) | 当事業年度<br>(2022年3月31日) |
|------------------------------|-----------------------|-----------------------|
| (1) 1株当たり純資産額<br>(算定上の基礎)    | 156.65円               | 133.49円               |
| 貸借対照表の純資産の部の合計額 (千円)         | 930,619               | 780,524               |
| 純資産の部から控除する金額 (千円)           | 23,698                | 7,650                 |
| (うち新株予約権) (千円)               | (23,698)              | (7,650)               |
| 普通株式に係る純資産額 (千円)             | 906,920               | 772,874               |
| 普通株式の発行済株式数 (株)              | 5,789,700             | 5,789,700             |
| 普通株式の自己株式数 (株)               | 137                   | 137                   |
| 1株当たり純資産額の算定に用いられた普通株式の数 (株) | 5,789,563             | 5,789,563             |

| 項目                         | 前事業年度<br>(自 2020年4月1日<br>至 2021年3月31日) | 当事業年度<br>(自 2021年4月1日<br>至 2022年3月31日) |
|----------------------------|--|--|
| (2) 1株当たり当期純損失<br>(算定上の基礎) | 30.38円                                 | 23.15円                                 |
| 損益計算書上の当期純損失 (千円)          | 172,473                                | 134,046                                |

|              |      |           |           |
|--------------|------|-----------|-----------|
| 普通株式に係る当期純損失 | (千円) | 172,473   | 134,046   |
| 普通株式の期中平均株式数 | (株)  | 5,676,594 | 5,789,563 |

(注) 前事業年度及び当事業年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株主が存在するものの1株当たり当期純損失であるため、記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。